

平成28年度学生表彰・受賞者一覧

整理番号	氏名・団体名	所属	表彰理由	推薦者	該当基準
1	イトウ 伊藤 拓哉	理工学研究科 (工学系)	精力的に研究を行い、学会等で口頭発表やポスター発表を行い、その成果が高く評価されたため。プラスチック成形加工学会第24回秋季大会において学生ポスター賞を、International Workshop for Asian Young Researchers on Polymer Processing and RheologyにおいてはBest Poster Awardを受賞したため。また、企業との共同研究(2500万円/2年間)のテーマを主体的に推進し、1年間の契約継続の立役者となった。さらに、2015年度採択JSTプログラム「さくらサイエンスプラン」では、アジアの若手留学生9名を招へいして18日間の国際交流を行い、学生リーダーとして支援した。	理工学研究科長	第1号 (学術研究活動)
2	イナバ 稲葉 涼太	理工学研究科 (理学系)	第11回日本フラックス成長研究会において優秀ポスター賞を受賞したため。研究成果の発表は、国内学会等6件と国際会議1件の合計7件にも及び、他の博士前期課程学生の中でも多く、その継続的な努力が実を結んだ。	理工学研究科長	第1号 (学術研究活動)
3	オオスマ 大沼 夏樹	理工学研究科 (工学系)	研究成果をまとめた論文がWileyの <i>Chemistry-An Asian Journal</i> (IF:4.592)に掲載、内容が非常に高く評価され、Very Important Paper(VIP)として受理されたため。さらに1報が査読付き学術雑誌 <i>J. Mater. Chem. C</i> (IF: 5.006)に掲載された。	理工学研究科長	第1号 (学術研究活動)
4	タカキ 高木 芽衣	理工学研究科 (工学系)	学部4年から博士前期課程在学中の3年間に9度の学会発表を経験し、それらの学会で4件のポスター賞等を受賞するという著しく高い業績を収めたため。 ・第27回アイオノマーシンプोजウム「三井・デュボンポリケミカル賞」 ・プラスチック成形加工学会第23回秋季大会「ポスター賞」 ・第28回アイオノマーシンプोजウム「三井・デュボンポリケミカル賞」 ・プラスチック成形加工学会第27回年次大会「優秀学生ポスター賞」	理工学研究科長	第1号 (学術研究活動)
5	タカハシ 高橋 茶子	理工学研究科 (工学系)	情報処理学会第78回全国大会において学生奨励賞を受賞したため。また、査読有り国際学術論文誌 <i>Journal of the Physical Society of Japan</i> に論文2編が掲載され、高い評価を得ている。さらにこれまでの研究業績や今後の研究計画が高く評価され、平成29年度からの日本学術振興会特別研究員DCIIにも内定している。	理工学研究科長	第1号 (学術研究活動)
6	ヤマグチ 山口 諒子	医学部	第105回日本病理学会総会においてポスター発表し、最優秀賞を受賞したため。	医学部長	第1号 (学術研究活動)
7	タノ 丹野 玲奈 クマザカ 熊坂 和則	地域教育文化学部	第2回村山の「あんばい・いい家」大賞設計コンペにおいて、全国から寄せられた78作品(応募登録137件)の中から第2位にあたる特別賞を、インターンシップ実習先企業と共同で受賞したため。	地域教育文化学部長	第1号 (学術研究活動)
8	ヒガ 比嘉 愛七 アキバ 秋葉 拓哉	人文学部	(株)野村総合研究所が主催する「マーケティング分析コンテスト2016」にて、佳作に入選したため。作品名「携帯電話のキャリア選択における広告の効果分析と広告出稿戦略の提案」	人文学部長	第1号 (学術研究活動)
9	アサノ 浅野 早織	医学部	(公財)医学教育振興財団が実施している平成27年度「英国大学医学部における臨床実習のための短期留学」に派遣される19名の中に選ばれるなど、6年間にわたり優秀な成績で学業を修めたため。	医学部長	第2号 (学業成績優秀者)
10	カシワガラ 柏倉 康平	地域教育文化学部	第32回日本ジュニア陸上競技選手権において男子三段跳・第4位の成績を収めたため。この他、東北学生陸上競技対校選手権や東北地区大学体育大会陸上競技において優勝を果たしている。	地域教育文化学部長	第3号 (課外活動)
11	ソウ 蘇武 絢子	地域教育文化学部	第8回東京国際声楽コンクール本選において、第3位に入賞したため。また、西日本准予選においては第1位となり神戸新聞社賞も併せて受賞している。	地域教育文化学部長	第3号 (課外活動)
12	タカハシ 高橋 かわり	地域教育文化学部	天皇賜杯第85回日本学生陸上競技対校選手権において女子走幅跳・第7位、第32回日本ジュニア陸上競技選手権において女子三段跳・第4位、女子走幅跳第8位の成績を収めたため。この他、東北学生陸上競技対校選手権等で複数回の優勝を果たした。	地域教育文化学部長	第3号 (課外活動)
13	チヨウナン 長南 敦也	地域教育文化学部	第32回JPTAピアノ・オーデション全国大会で優秀賞(第2位または3位相当)を獲得したため。また、優秀賞以上の者が出演できる演奏会で演奏を行った。	地域教育文化学部長	第3号 (課外活動)
14	マエダ 前田 悠梨香	工学部	発明「液だれ防止付き自立おたま」についてパテントコンテスト(平成25年)に入賞、平成26年に特許権を取得したため。製品開発を目指し、企業と打ち合わせを重ねている。さらに、GPAも3.3以上と非常に高く、勉学・研究に励んでおり、学生の模範となっている学生であるため。	工学部長	第3号 (課外活動)
15	START TOHOKU	代表: 斉藤 亜希 (人文学部)	防災教育の取り組みを顕彰する「ぼうさい甲子園」において、山形県から初めての入賞となる、フロンティア賞を受賞したため。	副学長	第4号 (その他)